

出向先紹介コーナー

## 財団法人 ファインセラミックスセンター

ファインセラミックスという新素材の科学、技術を扱う我が国唯一の試験研究公益法人として、財団法人ファインセラミックスセンター(JFCC)が1985年に設立され、2年後の1987年から本格事業を開始した。設立に際しては、中部経済連合会、愛知県、名古屋市、岐阜県、通商産業省、地元および全国台の企業、産業界から多大なご支援をいただきました。中部電力との関係は各段に大きいものがあり、故田中清一中経連会長の設立に賭けられた情熱があったればこそ実現したと思います。また、多数の出向(現在5名)と毎年10テーマ余の研究委託をいただき、JFCCの経営基盤強化と事業活動に貢献いただいております。

現在、常勤役員4名を含め109名の役職員を擁し、事務局10名、企画本部15名、試験研究所84名の組織構成で、研究開発事業、技術基盤整備事業、中小企業振興事業、国際交流事業、普及啓発事業を展開している。

この中でも、ファインセラミックス産業の高度化、活性化、新技術の創製に関係の深い研究開発事業と技術基盤整備事業に注力し、これを一体的に進めている。

JFCCが進めている技術分野は、微構造解析、計算科学、薄膜合成、電気機能材料評価、粉体設計、焼結プロセス設計、化学プロセス設計、燃料電池、材料応用、バイオ材料、機械特性評価・データベース・国際標準の11に分類され、各々専門の研究者、技術者を配置している。事業収入の大部分は、国、企業、自治体からの委託研究、および依頼試験に依存する。JFCCの研究活動は、独立行政法人としてスタートした国立研究機関や、一層の自助努力を要請されている大学との競争にさらされており、独自シーズに支えられた魅力的なテーマを用意して積極果敢な提案活動を行うことが重要な経営課題である。



写真1 中部電力関係者  
左から 松島康司、恩田勝弘、日下 弘、石田 猛、久保幸雄、  
苅谷征男



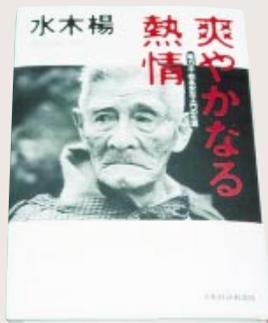
写真2 JFCC研究棟の外観

編集部便り

書籍紹介

「爽やかなる熱情」

著者 水木 楊(みずき・よう)  
作家  
元日本経済新聞取締役 論説主幹  
版元 日本経済新聞社  
装丁 A5版 新刊  
価格 1700円



電力の鬼といわれる松永安左衛門は、鬼の如く阿修羅の如く、戦後に電力再建の大事業をなし遂げるべく戦い抜いた。電力の完全自由化議論が始まろうとしている今、改めて目を通したい。

「知財管理」

発行 日本知的財産協会  
(月刊・非売品)  
装丁 B5判



特許や工業所有権など知的財産に関して、具体的に新しい視点から解説されており、技術者にとって有益な情報が満載、大いに活用されたい。

本店図書室・技術開発本部図書室に保管してありますので、ご利用ください。